



王南通信

令和4年11月28日 第38号

HPアドレス <http://ounansho.sakura.ne.jp/>



PTA本部のみなさん、すてきな飾り付けをありがとうございました。

とてもすてきな体験ができた「太子フェスティバル」

15日に「太子フェスティバル」として劇団音芽さんによる「オズの魔法使い」を鑑賞しました。目の前で演じられる劇を鑑賞する機会はそうあるものではなく、ぜひそんな機会を子どもたちにプレゼントしたいというPTAのみなさんの願いで実現しました。みんな劇に見入ってあっという間に時間が過ぎました。とても貴重な体験になったことだと思います。ふだんから文章を書くことや絵を描くこと、ものを作ること、歌うこと、踊ることなどさまざまな表現を楽しんでいる人たちがいます。自分の好きな表現、得意な表現を楽しむことはとてもすてきなことです。そんな人たちにとって、音芽さんの「ミュージカル」という表現を味わう今回の体験が、これからも自分なりのさまざまな表現を楽しもうとする意欲につながればうれしく思います。フェスティバルに関わってくださった全ての方、ありがとうございました。



校外学習をさらに深めて……7年生

10月末に7年生は奈良公園へ校外学習に行っています。SDGsについて考える学習の一環として「なぜ奈良のシカだけが人になれているの？自然と人の共生」というテーマで講演を聞きました。7年生は総合的な学習の時間の課題を「SDGsをジブンゴト」として学習を進めています。こうした学習を生かし、道徳科で自然愛護について考える学習を行いました。教材は奈良県教育委員会による郷土資料「奈良公園のシカ」です。昔いたシカ「白ちゃん」が珍しい人々に追いつかれ交通事故にあったことなど、人とシカとの関わりを取り上げた教材ですが、主人公は最後の場面で、奈良公園で遊ぶ家族連れとのんびり草を食むシカとをながめながら「人間だってこの自然の一部なんだ」というお兄さんの言葉について考えます。7年生のみんなも、主人公が考えたことを「ジブンゴト」として考えてくれたことでしょうか。よければ「奈良公園のシカ」、みなさんも読んで考えませんか。資料は以下のアドレスから(^-^)

<https://www.pref.nara.jp/secure/43497/kyoudo2.pdf>



環境・美化委員会の活動で……

みんなで協力し合う心や花を愛する心を育み、豊かな人権感覚を身に付けることを目的とした「人権の花」を葛城人権擁護委員のみなさんからいただきました。5、6年生の環境・美化委員の人たちが、人権擁護委員のみなさんと一緒にプランターにパンジーを植えました。プランターは校門の周辺に置いてあります。パンジーの花言葉は「私を思って」。これから水やりなどを協力して行いながら、可憐な花のことを思い、その姿をみんなで楽しんでいきたいです。



太子学舎と畠田学舎をつなぐ「お手紙交換」

普段なかなか会えないけれど、会えないからこそメッセージや手紙で互いのことを知らせ合ったり、気持ちを伝え合ったりできることは素敵なこと(^-^)。1年生のみんなが畠田学舎のお姉さん、お兄さんたちに手紙を書いてくれました。ありがとう。また太子学舎にお返事が届くことでしょうか。

